

事業名	保育所指導費			調査番号	28
細事業名	保育所等関係職員研修開催費	財務コード	077707		
担当部課室	福祉保健 部 子育て支援 課 子育て支援 担当 (内線)	3161			

事業の概要			
実施期間	始期 H22 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	県(直営)		
目的	だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか
	保育所等関係職員	保育所等における職務に必要な知識・技術を習得している	保育の質の向上
内容	<p>事業概要 事業の目的 保育所等の職員及び保育所等を指導監督する立場の職員等を対象に多様化する保育・教育制度や保育所等に求められる機能の理解、保育所等の適切な運営や保育の質の向上に必要な知識・技術を提供する。</p> <p>研修の内容 保育所等の職員及び保育所等を指導監督する立場の職員等を対象に、年間11回会議及び研修会を開催する。 このうち保育所の職員等を対象とする研修を実施するために必要な費用については、子ども・子育て支援体制整備総合推進事業費国庫補助金が交付される(補助率1/2)。(H27年度~)</p> <p>事業実績(H27年度) 研修回数 11回 受講者数 681名</p>		
	根拠法令等		

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)									
区分	指標	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
活動指標	研修会の開催回数	目標	13	10	11	10	11	11	11
		実績(見込)	13	10	11	10	11	11	
		達成率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
		達成区分	b	b	b	b	b		
成果指標	受講者の満足度数	目標	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
		実績(見込)	82.0	94.0	92.0	96.0	86.0	80.0	
		達成率	102.5	117.5	115.0	120.0	107.5		
		達成区分	b	b	b	a	b		
決算(予算) 単位:千円		359	143	261	245	285	523	525	

事業の評価(平成27年度の業績評価)		
活動指標	b	評価 目標としていた80%(満足度)は超えており、また受講者からは、「初めて知ることも多く、研修を受講して良かった」「研修で学んだことを現場で活かしていきたい」といった声が多数あり、意図した成果をほぼ上げている。
成果指標	b	

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

見直しの必要性(平成29年度に向けた改善等の考え方)	
見直しの必要性	判定 <input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い <input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明 <input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input checked="" type="checkbox"/> その他 専門的・広域的な人材育成は県の役割)
有効性(成果向上)	判定 <input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能 <input type="checkbox"/> 成果向上は余り望めない
	説明 保育士のキャリアアップ、保育の質の向上につながる。
見直しの余地	判定 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある <input type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある <input type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明 <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input type="checkbox"/> その他 ()
その他	説明
見直しの必要性	有 現在、県(子育て支援課)や県社会福祉協議会、県保育協議会がそれぞれ研修会を開催しているが、研修体系を見直すことにより、保育の質の向上が期待できる。また、国では研修による技能の習得により、キャリアアップができる仕組みを構築することとしており、検討結果を踏まえた研修体系の見直しが必要となる。

見直しの方向(平成29年度当初予算等での対応状況)	
実施方法等の変更	説明 キャリアアップ研修の創設等、国の研修体系の見直し踏まえて、本事業についても事業内容等について見直しを検討する。

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、「見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。